第11回

生宅医療研究

在宅で懸命に生きる医療的ケア児とご家族にとって、自然災害の備えは切実な課題です。 「もしも」の時、私たちは子どもたちの命と日常をどう守るのか。

物品の備蓄、移動手段、緊急時の連絡体制など、明日から実践できる具体的な対策を共に学び、 地域を越えて一緒に考えましょう。

「医療的ケア児の災害時対応について」

令和8年 2月1日(日)

12:30~16:30(開場・受付11:30)

三重大学 三翠ホール 大ホール

三重県津市江戸橋2丁目174

定員400名 要申込 参加無料

> 手話通訳・ 要約筆記付き

12:30~12:40 開会 あいさつ

12:40~13:45 基調講演

「能登半島地震における医療的ケア児への対応」

座長:澤田 博文 三重大学医学部附属病院 小児・AYA がんトータルケアセンター センター長

演者:黒田 文人 金沢大学医薬保健学総合研究科 特任准教授

14:00~16:25 シンポジウム

座長:夏目 淳 名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座 特任教授

山本 崇裕 岐阜大学大学院医学系研究科小児科学 小児在宅医療教育支援センター 副センター長

澤田 博文 三重大学医学部附属病院 小児・AYA がんトータルケアセンター センター長

● 発表 14:00~15:30

愛知県 「医療的ケア児・者の移動課題の取り組み/トヨタ福祉車両の取り組み」

演者:鈴木 啓人 トヨタ自動車(株)新事業企画部 主幹 林 一顕 トヨタ自動車(株)国内商品部 主幹

岐阜県 「隣接する医療機関と連携した特別支援学校における避難訓練」

演者:井原 誠 岐阜県立長良特別支援学校 校長

三重県 「訪問看護師による自助を高めるための支援」

演者: 岡田 まり (株)ジェネラス 訪問看護ステーションほたるいせ



● 参加登録

参加希望の方は**令和8年 1月6日(火)**までに二次元コードまたはURLからお申込みください。申込者全員に受講選考結果をメールにて通知いたしますので、1月16日(金)までに通知がない場合は、事務局までご連絡ください。

定員 400名 参加無料

URL https://logoform.jp/form/8vMX/1239476



申込二次元コード

● 会場へのアクセス



三重大学 三翠ホール 大ホール 〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174

(三重大学医学部附属病院の住所です。カーナビ等の「目的地」にはこちらの住所をご入力ください。)

- JR 近鉄津駅からお越しの場合:三重交通バス「津駅前」バス停4番のりば(東改札側ロータリー内)から 乗車、「大学病院前」バス停で降車し、三翠ホールまで徒歩5分
 - ※バス乗車時間は約5分です。時刻は変更の可能性がありますので、当日ご確認ください。 ※大人片道240円で、現金と全国の交通系ICカードがご利用いただけます。
- 近鉄江戸橋駅からお越しの場合:三翠ホールまで徒歩20分
- 自家用車でお越しの場合は、アクセスマップに記載されている三重大学医学部附属病院 および大学構内の駐車場をご利用ください。



三重交通HP

●ご連絡事項

- 参加にあたりバギーや車いすをご使用、電源確保が必要等、配慮が必要とされる場合はお申込み時にフォームへ ご記入ください。
- ■主催:愛知県、岐阜県、三重県、愛知県医療療育総合センター、名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座、岐阜大学大学院医学系研究科りに全て医療教育支援センター、三重大学医学部附属病院小児・AYA がんトータルケアセンター
- ■後援:愛知県医師会、愛知県小児科医会、愛知県歯科医師会、愛知県薬剤師会、愛知県看護協会、愛知県在宅療養支援医協会、愛知県訪問看護ステーション協議会、愛知県歯科衛生士会、愛知県特別支援学校長会、愛知県教育委員会

岐阜県医師会、岐阜県小児科医会、岐阜県歯科医師会、岐阜県薬剤師会、岐阜県看護協会、岐阜県特別支援学校長会、岐阜県病院協会、岐阜県作業療法士会、岐阜県理学療法士会、岐阜県言語聴覚士会、岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会、岐阜県臨床工学技士会、岐阜県教育委員会

三重県医師会、三重県小児科医会、三重県歯科医師会、三重県薬剤師会、三重県看護協会、三重県病院協会、三重県理学療法士会、三重県作業療法士会、三重県言語聴覚士会、三重県特別支援学校長会、三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会、三重県訪問看護ステーション協議会、三重県医療ソーシャルワーカー協会、三重県教育委員会